

第2回独立行政法人情報通信研究機構契約監視委員会議事概要

開催日時及び場所	平成26年3月17日(月) 午前10時00分～12時15分 情報通信研究機構麹町第2,3会議室
出席委員 (敬称略、50音順)	<ul style="list-style-type: none"> ・加藤 暢一 公認会計士(新日本有限責任監査法人) ・渋谷 道夫 公認会計士(渋谷道夫事務所) ・名越 秀夫 弁護士・弁理士(生田・名越・高橋法律特許事務所) ・林 弘 情報通信研究機構監事 ・松井 武久 MTRC技術経営研究センター所長 ・松田 修一 早稲田大学名誉教授 ・山本 一晴 情報通信研究機構監事
議事概要	<p>1 開 会</p> <p>2 理事挨拶</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 平成25年度契約の実績に対する審議</p> <p style="padding-left: 2em;">事務局から以下の説明があり、その報告を基に点検・確認を行った。</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 競争性のない随意契約について</p> <p style="padding-left: 4em;">真にやむを得ないもの(50件)を除き、一般競争入札等に移行し、また、平成25年度新規案件(15件)についても、供給者が一に特定される土地の買入、建物等の賃貸借、土地・建物の賃貸借に付随する役務、電力・ガス・水道需給契約等であることの説明があり、その報告内容が確認された。</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 一者応札・応募の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一者応札・応募の改善に向けた取組みとして ①仕様内容の適正化、入札参加条件の緩和 ②公告期間、業務等準備期間の確保 ③調達情報の充実 ④一者応札・応募の事後点検などを実施したこと。また、2か年連続して一者応札・応募になっている案件については、「一者応札・応募等事案フォローアップ票」による報告があった。 ・ 事務局からの説明後報告内容が確認され、委員から以下の意見等があった。 <p style="padding-left: 2em;">[意見等]</p> <p style="padding-left: 4em;">1) 一者応札・応募の事後点検として事業者に対する入札参加者拡大に向けたアンケートを実施し、寄せられた回答について改善できるものについては逐次反映していた。特に、仕様書に対する意見について、仕様書の見直しを行い、再入札を行ったことは評価できる。</p>

- 2) 上記アンケートについては、入札応募者を拡大するため幅広くアンケートをとる方法の検討を行うべきである。
- 3) 契約の適正性への取組においては、公募に対し複数者の応募があった場合は一般競争入札へ移行しているなど、こうした努力を今後とも期待する。
- 4) 電子入札システムについては、今年度から運用が開始（物品・役務関係は政府調達関係に限定）されたが、電子システムの利用により手続きに要する時間が増加するなどの課題があり、適正かつ効率的な処理方法を検討する必要がある。

(2) 契約監視委員会による点検・見直し結果の審議

以下の項目について意見を取りまとめ、委員長の確認を受けることとなった。

- 1 機構の見直し計画について
- 2 競争性のない随意契約について
- 3 競争入札における一者応札・応募案件について
- 4 要望

4 閉 会